



安藤俊太郎

東京都医学総合研究所心の健康プロジェクト研究員。  
2003年東京大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院、東京都立府中病院等を経て、2010年ロンドン大学熱帯医学・公衆衛生学大学院にて公衆衛生学修士を取得。王立ロンドン大学精神医学研究所研究員を経て、2011年4月より東京都医学総合研究所心の健康プロジェクト研究員。

金 吉晴



国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健研究部 部長。

1984年京都大学医学部卒業。  
1990年国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部 研究員。1995年Institute of Psychiatry, London, U. K. にて在学研究員。2002年より現職。

1997年厚生大臣表彰(ペルー日本大使公邸占拠事件における医療救助活動への参加に対して)

研究テーマ：PTSDの病態と治療に関する研究(持続エクスポージャー療法公認supervisor; Edna Foaより) 災害時精神医療に関する研究。日本精神神経学会「病名変更委員会」において精神分裂病の病名変更活動。疾患概念と症状に関する研究。

学会活動：日本トラウマティックストレス学会 設立大会 会長、理事、編集委員長。日本自殺予防学会理事。Committee of psychopathology, World Psychiatric Association. International Task Force, International Society for Traumatic Stress Studies 等

東京大学 安田講堂  
(本郷キャンパス大講堂)

〒113-8654 文京区本郷7-3-1  
TEL 03-3812-2111 (代表)

〈東京大学本郷キャンパス アクセス〉  
地下鉄南北線「東大前」駅 徒歩1分  
地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅 徒歩6分



主催：日本不安障害学会  
共催：Meiji Seikaファルマ株式会社  
NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会

事務局：医療法人和楽会  
心療内科・神経科 赤坂クリニック  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-9-18 BIC赤坂ビル6階  
ホームページアドレス：<http://www.fuanclinic.com>  
E-Mail：[waraku@fuanclinic.com](mailto:waraku@fuanclinic.com)

第4回日本不安障害学会  
学術大会  
市民公開講座

(兼 不安の医学 第19回都民講演会)

テーマ

「大震災による心身への影響」



平成24年2月5日(日)  
東京大学 安田講堂

# 第4回 日本不安障害学会学術大会 市民公開講座

(兼 不安の医学 第19回都民講演会)

— テーマ —

## 「大震災による心身への影響」

日時	平成24年2月5日(日) PM1:30~4:15(開場 1:00)
場所	東京大学安田講堂
入場料	無料

<はじめに>

2011年3月11日に発生した東日本大震災におきましては、地震だけでなく、津波による大きな被害と、さらには、福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染も重なり、未曾有の大災害となりました。このような大災害による心身への影響に、社会的にも大きな関心が寄せられていますので、今回の講演会では、被災地の専門家による心身への影響や、都内から被災地へ赴き支援を行った専門家、さらには災害による心への影響の治療に関する専門家に講演をしていただきます。世の中にあやふやな情報も流れる中、本講演会で、正確な情報に触れていただき、少しでも皆様の安心な暮らしにつながれば幸甚です。

平成24年 陸月 吉日

総合司会：笠井 清登

第4回日本不安障害学会大会長

東京大学大学院医学系研究科精神医学分野 教授

●PM 1:30~1:35 開会の辞

樋口 輝彦

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 総長

●PM 1:35~2:15 公開講座1

「大震災による精神障害への影響」

座長／久保木富房

東京大学 名誉教授

講師／丹羽 真一

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座 教授

●PM 2:15~2:55 公開講座2

「大震災による身体疾患への影響」

座長／野村 忍

早稲田大学人間科学学術院 教授

講師／福土 審

東北大学大学院医学系研究科行動医学 教授

●PM 2:55~3:35 公開講座3

「被災地支援で求められているもの

—東松島市支援の経験から—」

座長／貝谷 久宣

医療法人和楽会理事長 パニック障害研究センター 代表

講師／安藤俊太郎

東京都医学総合研究所心の健康プロジェクト

●PM 3:35~4:15 公開講座4

「外傷後ストレス障害の治療」

座長／坂野 雄二

北海道医療大学心理科学部 教授

講師／金 吉晴

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所成人精神保健研究部 部長

●PM 4:15~ 閉会の辞

丹羽 真一



1992年から福島県立医科大学神経精神医学講座教授。

1947年愛知県生まれ。1972年東京大学医学部卒業。専門領域は臨床精神医学一般。福島県精神保健福祉協会の会長、福島いのちの電話の顧問などをつとめて

もいる。主要著書に薬物療法と心理社会療法の統合(中山書店、2009)、統合失調症の治療と基礎(朝倉書店、2008)、NEW精神医学(南江堂、2008)、メンタルヘルス事典(同朋社、2006)などがある。2011年3月の東日本大震災と引き続く福島第一原発事故により生じた福島県のこころの医療の障害の復興と新生のために、福島医大・こころのケアチームとともに、主に福島県太平洋岸(浜通り)にて活動してきている。その中で「NPO法人 相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会」の理事長にも就任。相双地域でのアウトリーチ型の精神科医療保健サービスの展開にも尽力している。

福土 審



東北大学大学院医学系研究科行動医学分野教授／東北大学病院心療内科長。

1983年東北大学医学部医学科卒業、医学博士。1987年東北大学医学部附属病院心療内科助手、デューク大学医学部研究員など

を経て、1998年東北大学心療内科助教授、1999年教授、2011年科長。専攻は心身医学・行動医学。機能性消化管障害国際ローマ委員会委員。書籍に「ローマⅢ：機能性消化管障害」(分担、デグノン協会)、「内臓感覚―脳と腸の不思議な関係」(単著、NHKブックス)、など。日本心身医学会石川記念賞、アメリカ心身医学会若手研究者賞、東北大学沢柳賞、文部科学大臣表彰科学技術賞研究部門、アメリカ消化器病学会マスターズ賞などを受賞。